

コース概要

小児科・NICUコース

【プログラムの目的と特色】

小児科における後期研修では、小児科学および周産期・新生児学全般における幅広い知識と技能を有し、新生児から成人になるまでを対象とする質の高い医療が実践できる小児専門医の育成を目的とする。当院小児科の特徴は、奈良市を中心に対象人口40～50万人相当の小児医療を担っており様々な分野の疾患を経験できることである。年間総入院数は660人で病床は24床で運営している。午前診は一般外来で急性疾患診療が中心である。午後診では心エコー検査年間500例をこなし、神経、アレルギー、内分泌、血液、腎疾患などの慢性疾患を各担当医が診療している。小児輪番当直への参加はもちろんのこと平日日勤帯の奈良市周辺の救急搬送を積極的に受け入れており小児救急に関しても豊富な経験が可能である。後期研修医へはマンツーマン指導が原則であるが、指導医を中心に全スタッフが全面的にバックアップしている。



当院NICUの特徴は、NICU病床が15床(狭義NICU9床、GCU6床)あり、産婦人科と協力して地域周産期医療センターとして奈良県北部の周産期医療の中核を担う。また、奈良県北部の産婦人科医院や助産所で出生した病的新生児の搬送をNICUの医師および看護師で行っている。後期研修医は、主治医として数多くの新生児疾患を経験することが可能であり、新生児疾患の病態生理や治療、超音波検査(心臓、頭部、腹部など)などの診断技術、重症児の蘇生技術を実際の診療を通じて修得できる。NICU研修期間中は分娩立ち会い、新生児搬送、受け持ち患児の処置、家族への病状説明などを行う。さらに、産科病棟で出生した健常新生児の診察および処置、退院後の検診も行う。

【研修内容と到達目標】

後期研修3年間で日本小児科学会専門医の取得が可能である。

後期1年次

小児科の研修を行う。小児医療は多岐にわたるが可能な限り多くの分野の疾患を担当し診断から治療までを経験する。病態生理の理解と血液検査や画像検査の正しい解釈や小児の輸液管理、抗生物質の選択などの基本知識および超音波検査など医療技術を修得する。また最初から検査に頼らず問診、観察、診察を丁寧にいき診断能力を高めることと患児や保護者と綿密にコミュニケーションをとることを重視している。

後期2年次

NICUの研修を行う。NICUで行う医療はintensive careであり、蘇生技術の修得、および全ての重症新生児への対応ができる診断・治療の能力を修得する。さらに、母子間愛着形成の支援にスタッフ全員で取り組んでおり、母乳保育の推進、カンガルーケア、ポジショニングなどのナラティブな医療態度を修得する。希望により、奈良県立医科大学NICUでの研修も可能である。

後期3年次

奈良県立医科大学小児科で研修を行う。血液腫瘍および循環器疾患、神経疾患を含む様々な小児疾患のこどもを受け持ち、診断と治療の技術を修得する。

【週間スケジュールおよび勉強会】

小児科

	月	火	水	木	金
朝	小児科・NICU合同カンファレンス				
午前	病棟処置	外来処置	外来処置	外来処置	外来処置
午後	総回診	時間外救急 神経外来	時間外救急 アレルギー 外来	時間外救急 慢性外来	時間外救急 慢性外来
夕方	回診	回診	回診	回診	症例検討会

NICU

	月	火	水	木	金
朝	小児科・NICU合同カンファレンス			輪読会 学会報告会 など	
午前	回診	回診	回診 発達外来	回診 心理カンファ レンス (1回/月)	回診 発達外来 (新患)
午後	発達外来	1か月検診	発達外来	発達外来	発達外来
夕方	回診	回診	回診	回診	回診

コース概要

【平成22年診療実績】

小児科: 総入院数660例、呼吸器疾患296例(喘息82例、急性喉頭蓋炎)、消化器疾患77例(腹膜炎2例、乳児クローン病)、神経疾患74例(てんかん14例、顔面神経麻痺3例、Fisher症候群)、血液・免疫疾患(ITP3例、好中球減少症2例、免疫不全症、全身型JIA、PFAPA)、腎・泌尿器疾患(ネフローゼ4例、AGN2例、尿路感染症13例)、循環器疾患27例(川崎病26例、心筋症)、GH負荷テスト12例、食物負荷テスト6例、心エコー検査約500例

NICU: 総入院数171例(うち極低出生体重児24例)、人工呼吸管理50例、NO吸入療法4例、脳低温療法4例、新生児搬送33例

【指導医】

小児科

医師名	役職	医師資格取得年	所属学会・資格等	専門領域
福田和由	部長	平 3	日本小児科学会専門医、日本小児循環器病学会、日本血液学会、日本未熟児新生児学会	循環器、神経
吉田さやか	医長	平 2	日本小児科学会専門医、日本血液専門医日本先天代謝異常学会、日本リウマチ学会、日本未熟児新生児学会	血液、内分泌、免疫疾患
中野智巳	医長	平 6	日本小児科学会専門医、日本小児感染症学会、日本小児内分泌学会、日本小児リウマチ学会、日本川崎病学会、日本小児血液学会	血液、川崎病
久保里美	医長	平 13	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会、日本未熟児新生児学会、日本周産期新生児学会、日本救急医学会	アレルギー免疫
澁田加那子	医員	平 19	日本小児科学会	

NICU

医師名	役職	医師資格取得年	所属学会・資格等	専門領域
箕輪秀樹	部長	昭 63	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、日本小児神経学会、日本重症心身障害学会、NCPRインストラクター	新生児学、発達障害
扇谷綾子	医長	平 7	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、日本重症心身障害学会、小児保健学会、NCPRインストラクター	新生児学
恵美須礼子	医長	平 8	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、日本小児循環器学会、日本アロマセラピー学会、NCPRインストラクター	新生児学
安原 肇	医長	平 9	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、日本遺伝カウンセリング学会、日本小児救急医学会、日本アレルギー学会、NCPRインストラクター	新生児学
池田由香	医長	平 10	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、乳幼児精神保健学会、NCPRインストラクター	新生児学
美馬 文	医員	平 16	日本小児科学会専門医、日本周産期新生児医学会、日本未熟児新生児学会、日本小児血液学会、日本小児腎臓病学会、日本小児救急医学会、NCPRインストラクター	新生児学

【取得可能な認定医・専門医】

日本小児科学会専門医

【学会認定・施設】

日本小児科学会専門医研修施設

日本周産期・新生児医学会新生児専門医研修施設